

農作業事故の当事者が語る……

# 焦り・疲れ・無理が事故を招く



プレッシャーは体だけでなく心にも多大な負担

水稲やかんしよなどを作付ける集落営農法人では、オペレーターがコンバインから飛び降り落下して骨折をしたり、フォークリフトのギアを入れたまま降りた際に動き始め、足を挟むなどの事故が発生しました。いずれも急いだり焦ったりしたことが原因です。法人代表は「**従事者を焦らせないことが重要**」と語り、**天候なども考慮した無理のない作業スケジュール**を組むなどして事故防止につなげています。また、「**プレッシャーは体だけでなく心も痛める**」という自身の体験のもと、**本音が言える問いかけ**を心がけているそうです。

体調最優先で、早めの休憩  
作業者同士で確認・声かけ

重量野菜を生産する別の大型法人では、従事者が疲れを我慢してトラクターでの耕起作業を終えた帰路、**未舗装の農道のカーブで脱輪、横転して左足首を骨折する事故**がありました。  
収穫時期の終盤で疲労がたまっていたことに加え、時間に迫られて作業を続けたため、集中力が低下してハンドル操作ミス。当事者は「**早めに作業を切り上げればよかった。作業区切りは体調を最優先し、早め早めの休憩をとること、作業者同士でお互いの体調確認や声かけ**」と話しています。

## プレッシャーはメンタル面からも要注意

真面目な人、我慢強い人、優しい人ほど否定形の回答は言いにくい

本音が言える問いかけを

- ×「暑くないか?」「……大丈夫です」
- ◎「私も暑いから休もう」「はい」

## 対策のポイント

- ①作業量が負担にならないよう、人・作業を可能な量で振り分ける。
- ②「ここまで(やって)」は言わない(ノルマが無理を招く)。
- ③作業者同士で体調確認や声かけを行い、早めに休憩をとる。
- ④ヒヤリハットの事例を従事者全員で共有する。



## 安全管理と事故防止対策

- ・狭く急な坂道は、可能なら勾配をゆるく、道路幅を広くするなどして危険を取り除く。
- ・重心が高く転倒しやすい乗用トラクターは安全キャブ・フレームつきのものを使用。
- ・路肩がわかりやすいよう、定期的に草刈りを行い、崩れている箇所などは補修しておく。
- ・トラクターは作業機を装着しても見える位置に低速車マーク、作業機や車幅がわかる位置に反射板などを貼付。
- ・圃場内で片ブレーキを使用した作業の終了後は、圃場退出時にブレーキ連結を確認。
- ・移動通路や圃場の危険性を確認し、カーブでは減速、一旦停止。

**トラクターを片手運転中……**  
安全キャブ・フレームがないトラクターで3・3m幅の農道を片手運転で走行中、操作を誤り左側の用水路に転落。骨盤骨折、右大腿部ひび、右手中指挫傷。

**退出路で路肩を踏み外し……**  
狭い畑からの退出時、トラクターの左前輪が路肩を踏み外して畑に転落。骨盤粉碎骨折、内腸臍動脈断裂。

**小型乗用トラクターが崖下に転落し……**

安全フレームのない小型乗用トラクターで畑から通路に出て左旋回したところ、右の路肩から2・9mの崖下に転落。トラクターの下敷きになり死亡。

**カーブの路肩に草が茂り……**

水田の荒耕しを終えて農道を走行中、鋭角カーブの路肩が草の繁茂で見えにくくなっており、1・2m下の圃場に転落。2時間後に発見され、死亡。

**降雨後の坂道で**

**トラクターがスリップし……**

雨で濡れた狭い坂道をトラクターで上る途中で、スリップしたためエンジンを停止。ロータリーに足をかけ崖側に退避しようとしたが、トラクターもろとも7m下に転落し頸椎と肋骨を骨折。

**ブレーキの連結ロックを忘れてしまい……**

安全フレームなしのトラクターで公道を走行中、後続車両に気づいて停止しようとしたところ、ブレーキの連結ロックをし忘れていたため、片ブレーキに。左側の排水路に転落し、トラクターの下敷きになって死亡。

転落事故が多発しています

**公道でトラックが追突……**

日没後の公道でトラクターを運転中、右折のため右車線に移ろうとしたところトラックに追突され、反対車線を越えて歩道付近で横転。右肩甲骨周辺を打撲。